

# さかい男女共同参画ネットワーク

坂井市男女共同参画  
シンボルマーク

2025.3 vol.19

また、地域における男女共同参画についての学習会を重ねていく中で、まだまだ女性が地域での進出が少ない現状であることから、まちづくり協議会等を通して女性の参画についての発信等もしていきたいと思っています。



会員の皆様には平素より男女共同参画ネットワークの事業にご協力を賜り心より感謝申し上げます。ネットワーク事業として、「いつ起きてもおかしくない」災害に備えるための防災についての研修会を行いました。

さかい男女共同参画ネットワークでは、これから次世代を担っていく若者・子ども達のために、誰一人取り残されることなく、男女にこだわらない生活ができる居場所づくりを進めていきたいと思っています。

**ごあいさつ**



会長 赤土美代子

令和5年度 総会の様子

田中香苗氏講演 新役員紹介 議長 宮本明子氏 池田禎孝市長挨拶

〜坂井市議会議員と語る会〜

日時 令和6年7月31日 午後1時30分〜3時

会場 坂井健康センター 2階

**テーマ** ① 地域における男女共同参画について

地域の行事等に、男性だから、女性だからと言って役割や出番が決められるのではなく、一人一人ができる事を担う地域のあり方について話し合いを進めていきました。

「現状では、まだ男性が多数を占め女性の活動・役割は少ないが、少子高齢化社会が進んでいく中で、今後は女性、若者の参画は重要になってくる」とのご意見をいただきました。女性自身も常に受け身の立場だけでなく、発信できる場所を見つけ進んでいくことが大切です。

**テーマ** ② 男性の視点から見た男女共同参画の現状

地域において、女性に役職をお願いしても引き受けていただけない理由として、女のくせにとか夫がいるのに等々、出にくい現状があるからではないでしょうか。男女共同参画は、まず家庭から地域へと広がっていく事が重要となります。

市会議員の方々からは、「地域においても女性参画には温度差がある」「今後、いつ起こるか分からない災害時における女性参画の必要性が重視される」等々の励ましの言葉もいただき、ネットワーク団体自らが意識改革を進めていかなければいけないと思いました。

## 「会員のつどい」

日時: 令和6年11月16日(土)  
会場: 坂井市役所多目的棟3階大ホール

オープニングでは「御神鹿打込太鼓」の力強いパチさばきに魅了されました。式典の後は、会場を暗くして、「福井劇の会」の方々による朗読劇が始まりました。素晴らしい朗読を聞いていると、登場人物が目の前に現れ、まるで本当に劇を観ているかのようなようでした。来場者の方からは、「感動して込み上げてくるものがあった」という感想もいただきました。

最後は、抽選で花の小鉢のプレゼントもあり好評でした。



御神鹿打込太鼓 (下兵庫)



市民憲章の唱和

池田禎孝市長挨拶

朗読劇 (福井劇の会)

花の小鉢プレゼント

## 令和6年度 さかい男女共同参画ネットワーク総会

日時: 令和7年4月20日(日)  
午後1時30分〜

場所: 坂井市役所多目的棟3階大ホール  
講演: 講師: 県議会議員 清水智信氏

## 加盟団体を募集

私たちと一緒に活動しませんか!?

本会は、各団体の活動を尊重しながらお互いに情報交換し、坂井市の男女共同参画を推進しています。あなたの団体、グループの加入及び個人の加入を歓迎します。

【連絡先】  
坂井市総合政策部結婚応援課内 さかい男女共同参画センター  
電話: 0776-50-3018

## 【令和6年度 役員と加盟団体の一覧】

会長	赤土美代子	JA福井県女性部坂井支部
副会長	前田恵久美 吉澤君子 長谷川まゆみ	坂井市赤十字奉仕団 さかいソフィア 梨の郷生活学校
理事	辻橋さとみ 小松千恵美 本家明美 西畑邦子 木下元美 五十嵐寛子 廣瀬陽子 竹内みち子	坂井地区更生保護女性会 坂井市女性の会 坂井市男女共同参画推進委員会 消費者グループくらしの会 坂井市婦人福祉協議会
事務局	八十嶋智恵子 荒木麻利子	全9団体
会計	橋本栄子	
監事	田崎治憲 多田文樹	

## 「編集後記」

令和6年度の事業も順調に終わることができました。これもひとえに、会員の皆様のご協力のおかげとお礼申し上げます。しかし、男性の参加が少ないのはさみしい限り。男女の性別にとらわれずいきいきした住みよいまちづくりを目指したいと思っています。

(Y・K・I)

## リーダー養成研修会

日時: 令和6年9月25日(水) 10:00~  
 場所: 坂井健康センター2階  
 参加人数: 24名  
 講師: 福井工業大学工学部建築土木工学科 教授 竹田 周平氏  
 (専門分野: 防災工学 平成6年度内閣府地震・津波防災訓練アドバイザー)

### なぜ女性視点の防災・減災対策が大切なのか ~これまでの災害から「真の防災センス」を磨く~

地域の防災力向上を図るため、防災の現場における女性の参画を拡大・促進することがいかに大切かについて受講しました。

各地で災害が起きている中、男性だけでは十分なイメージができないことも、男女双方の視点で配慮することの重要性を共感しました。女性だからこそできる役割があるという気持ちを活動に繋げたいと実感した講義でした。

今回の研修を機に、防災・減災対策・避難所の運営等の訓練に積極的に参加することが大事だと痛感させられました。



### 女性の視点からの災害対応が大切 (今こそ、女性視点を) 真に災害に強い社会の実現

- ・男女共同参画の推進は、平時の防災・復興のベース(基盤)となる
- ・女性は、防災・復興の主體的な担い手である
- ・災害から受ける影響やニーズは男女で異なる
- ・男女の人権を尊重して、安全・安心な備えを行う
- ・要配慮者の対応でも女性の思いを! (竹田教授の講義より引用)

### ダイバーシティ・ インクルーシブ防災とは…

障害者や高齢者などあらゆる人を取り残さない防災の考え方です。

## 『加盟団体の活動報告』

### さかいソフィア

上映会鑑賞  
 日時: 令和6年9月7日(土)  
 場所: いねす 交流ホール

### 【The Gift from Beate】ベアテの贈り物

「ベアテの贈り物」は、日本国憲法(1946年11月3日公布)に、第14条「法の下での平等」と第24条「家庭生活における両性の平等」を草案したベアテ・シロタ・ゴードンの功績、それを受けて活動展開を進める日本女性たち、変化する日本社会、そして今後を問うドキュメンタリー映画です。

映画を見た方々からは、「女性の地位向上に力を注いでくれたことに感動した」「疑問に思ったことを我慢するのではなく声を上げることの大切さを改めて感じた」など、前向きな感想をたくさんいただきました。



### 坂井市女性の会

福井県婦人体育祭  
 日時: 令和6年6月2日(日)  
 場所: 福井県営体育館

福井県婦人体育祭が福井県営体育館にて開催されました。女性の会からは会員50名余りが参加しました。チームワークもばっちり総合3位となりました。

参加者全員が喜び合い、スポーツを通して親睦を深め、楽しい一日となりました。



パンいただきます!

ボールインでOKよ!

## 「高校生と考える男女共同参画」研修会

~可能性を広げた男女共同参画~

日時: 令和6年11月7日(木) 15:15~16:05  
 会場: 県立三国高等学校  
 参加者: 県立三国高等学校 1年1組34名 ネットワーク会員8名

講師: 内藤祐香氏(福井県警察本部交通機動隊)

“警察官になりたい”と、中学生の頃から将来の職業を決め、現在は、福井県警察本部交通機動隊に勤務。

越前市で行われた菊花マラソンや第1回桜マラソンでは、白バイの先導役としてランナーの安全を守るという役割を果たされた。



越前市菊花マラソンを先導する内藤さん

講師: 野村啓太氏(福井赤十字病院 看護師)

高校卒業後の進路に悩んだ時、家族からのアドバイスで看護専門学校に進学し、現在は福井赤十字病院に勤務。

「女性の多い看護師ではあるが、業務に性別の区別はない。患者さんの気持ちを最優先している」と振り返る。「その職業は、やりがいを感じられるかが大切」と語られた。



病棟内で若手看護師を指導する野村さん

### 【警察官・看護師の二人の印象】

- ・自分のしたい仕事を買き、素敵だった。 ・二人がとてもかっこ良かった。
- ・男女の差別なしを目指す中で、まだ実現できていないにもかかわらず、やりがいを持っている二人と感じた。
- ・二人共、男性・女性を気にしていない様子で、「男性だったら」「女性だったら」という感情のない事に驚いた。
- ・看護師は女性が多いと思っていたが、男性の看護師も魅力的と思った。

### 【仕事に対する男女共同参画】

- ・医療や警察の現場では、男女共同参画の進み具合は、まだまだだと感じた。しかし男性だから、女性だからと仕事には影響がないことがわかった。
- ・仕事で男性の仕事、女性の仕事というイメージはなかったが、男女比があることもわかった。
- ・自分らしさを大切にしている二人であり、男女比が同じくらいになったら良いのと思った。
- ・仕事だけではなく、生活の中でも男女共同参画は大切と思った。
- ・職業によって性別のイメージをなくそうと思った。

### 【将来について(男女共同参画を踏まえて)】

- ・男女の性別に関係なく、自分の好きな仕事に就きたい、やりがいを感じたいと思った。
- ・男女比を理由に何かをあきらめないようにしようと思った。
- ・自分の目指している話が聞けて良かった。 ・今日の二人の話を聞き、将来の選択肢が広がっていく感じがした。
- ・少し楽に将来のことを考えられるようになった。 ・性別の壁を乗り越えた二人を知り、将来の夢が広がった。
- ・自分の将来を考える機会となった。 ・仕事だけではなく、生活の中でも男女共同参画は大切と思った。
- ・男女共同参画を考える機会となった。